

第611回

## I B C番組審議会 議事録

— 議 題 —

「ミサヲさんの青春時代～時を越えた学びの時間～」

平成28年6月14日（火）

（株）I B C 岩手放送

## 第611回IBC番組審議会

1. 開催日程 平成28年6月14日(火) 午前11時
2. 開催場所 IBCデジタルセンター3階Dホール
3. 委員の出席
- |         |             |
|---------|-------------|
| 委員総数    | 10名         |
| 出席委員    | 8名          |
| 出席委員の氏名 |             |
| 委員長     | 田代 高章       |
| 副委員長    | 熊谷 志衣子      |
| 委員      | 宮 順子 佐藤 善通  |
|         | 澤口 たまみ 小松 務 |
|         | 龍澤 尚孝 村井 康典 |
| 欠席委員の氏名 | 畠山 俊彰 岩田 圭司 |
- 会社側の出席
- |       |            |
|-------|------------|
| 鎌田 英樹 | 代表取締役社長    |
| 川上 隆  | 常務取締役営業本部長 |
| 神 初見  | 取締役放送本部長   |
| 中島 勝志 | 報道局長       |
| 佐藤 将幸 | 報道部ディレクター  |
- 事務局
- |       |           |
|-------|-----------|
| 若槻 修  | 番組審議会事務局長 |
| 平澤 泰志 | 番組審議会事務局員 |
4. 議 題 「ミサヲさんの青春時代～時を越えた学びの時間～」

## 5. 議事の概要

### <委員の主な発言>

- ミサヲさんが次に何をするんだろうとか、何を言うんだろうというのが楽しみで、途中からミサヲさんが重い障がいを持っていることを時として忘れて、非常にチャーミングなおばあちゃんに惹きつけられた。描き方もあまり深刻にならずに淡々とミサヲさんの日常を描いていて見やすかった。
- ミサヲさんの笑顔が前面にあふれ、前向きな姿勢、学びに対する食欲さ、周囲に対する感謝などがストレートに伝わってきて、自分自身ももっと前向きに生きなければならないという気持ちにさせる番組だった。ミサヲさんの中学、高校入学まで前向きな彼女を前面に押し出しているが、そこまでに至る本人の苦労克服の過程、あるいは今でも実際は辛い思いや苦しい思いをしている場面ももう少し知りたいと思った。
- ITの進歩でタブレット1つでいろんなことが表現できる時代になりつつも、やはりそこには伊藤先生などそういう人の支えがあってであり、どんなに技術が進歩しても技術ではまかなえないものがあることを番組の中から感じた。一番印象に残っているのが、卒業証書の場面。「これは宝で人は1つ2つの宝を持っていなければダメ」と言っていたが、これが究極のメッセージではないか。
- 一番感動したのは「亡くなったお母さんが最も学校に入れたかったようだ」とお兄さんが言っていること。そして「父が『分け隔てがないように』と、おんぶして街に出て街の様子を見せて歩いた」という話。そういう愛情、取り組み方が彼女を明るくつくってくれた基礎になっている感じを受けた。
- 三十何歳まで遠野にいて、その後三十数年間、施設で暮らして、その間学びたいという意欲を受け止めるものはなかった。そこを思ったときに、やあ、やあ、良かったという話なのか。私たちが障がい者に対して何かできることがあるのかとか、そういうメッセージが番組としてあったらもっと良かった。
- 広く一般に見てもらいたい番組だが、深夜帯で子どもたちも見られない番組であり、是非、ほかの時間帯での再放送をお願いしたい。